

Sumikin Bussan Corporation

第88期 中間報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日まで

 住金物産株式会社

証券コード:9938

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、このたび第88期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに当上半期の事業の概況等についてご報告申しあげます。

なお、中間配当金につきましては、去る11月2日に開催された取締役会の決議により1株につき2円50銭とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成 22 年 11 月



取締役社長

天谷雅俊

企業理念

お客様と一緒に新しい価値を創造する。
公正・安全を最優先し社会に貢献する。
現場力・チーム力で夢に挑戦し実現する。

CONTENTS

株主の皆様へ	1	連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）	7
事業の概況	2	連結セグメント情報	7
連結業績の推移	5	会社の概況	8
連結貸借対照表（要旨）	6	株主メモ	9
連結損益計算書（要旨）	6		

事業の概況

企業集団の事業の経過および成果



当上半期の経済環境は、好調なアジア経済に支えられリーマンショックによる急激な落ち込みからは回復しつつありますが、国内の公共事業は低水準で推移し、雇用情勢は引き続き厳しく、円高の進行や製造業の海外移転の動きが加速しており、依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループの主要取引業界である鉄鋼業界におきましては、自動車関連の持ち直しや海外需要の改善などにより粗鋼生産は前年同期に比べ増加しましたが、公共事業の低迷などにより、建設関連については、依然として厳しい状況が続きました。産業機械業界におきましては、設備投資の持ち直しや海外需要の改善などにより機械の受注が改善するなど回復の兆しがみられました。繊維業界におきましては、個人消費の低迷や低価格志向の更なる強まりなどにより、引き続き百貨店など大型小売店での衣料品販売は低水準で推移しました。輸入食肉業界におきましては、消費不振により需要は低迷し、国内での口蹄疫発

生の影響などもあり、食肉価格は低調に推移しました。

このような経営環境の中、当社グループの連結売上高は3,893億円となり、前年同期に比べ278億円、7.7%増加しました。

損益につきましては、連結経常利益が43億64百万円となり、前年同期に比べ11億18百万円、34.5%増加しました。連結四半期純利益は22億21百万円となり、前年同期に比べ4億40百万円、24.8%増加しました。

主な事業の種類別の営業概況および業績は次のとおりであります。

<鉄鋼>

鉄鋼部門では、鋼板を中心に鋼材の取扱い数量は前年同期に比べ増加しましたが、公共事業の低迷などにより建設関連は厳しい状況が続きました。一方で、海外の需要回復により中国、タイ、米国のコイルセンターの業績が改善いたしました。連結売上高は2,082億円となり、連結経常利益は16億4百万円となりました。

<産機・インフラ事業>

産機・インフラ事業部門では、海外需要の回復などにより非鉄金属等の販売が改善し、また、海外でのインフラ事業の業績貢献などもあり、連結売上高は520億円となり、連結経常利益は9億1百万円となりました。FPD用ガラス分断機等を販売する住金物産マテックス株式会社は、前年同期と同様に好調を維持しました。

<繊維>

繊維部門では、百貨店など大型小売店での衣料品販売不振の影響を受け、厳しい状況が続きました。そのような環境の中でも、メンズは堅調に推移し、カジュアル衣料の株式会社エスピープランニングは好調を維持しました。連結売上高は735億円となり、連結経常利益は10億89百万円となりました。

<食糧>

食糧部門では、ビーフは低調でしたが加工食品は堅調に推移し、連結売上高は549億円となり、連結経常利益は10億57百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業には倉庫、テナントビルの不動産賃貸等の事業が含まれております。その他の事業の連結売上高は6億円となりましたが、自社ビルへの大阪本社移転などによる経費を計上したことにより、3億円の経常損失となりました。

トピックス



鉄鋼部門では、グループの鋼管販売体制強化のため、新たな投資として、鋼管および同付属品の加工・販売会社である淡路鋼管株式会社の全株式を取得し、連結子会社としました。また、米国の自動車ヘッドレスト部品製造会社のJR Manufacturing, Inc.において製造設備の増強を行いました。

産機・インフラ事業部門では、タイの工業団地で発電事業を行っているRojana Power Co., Ltd.に対して10%の追加出資を行い、20%出資の持分法適用会社としました。また、タイの精密切削加工部品製造会社のMiyaki SB

Precision (Thailand) Co.,Ltd.において加工設備を取得いたしました。

繊維部門では、新たな投資として、自社ブランドを持つ繊維製品・小物雑貨の販売会社である株式会社遊心クリエイションに出資し、持分法適用会社としました。

食糧部門では、株式会社つば八が新業態としてホルモン焼肉店「ホルモンの美味しい焼肉伊藤課長」をスタートさせました。

企業集団が対処すべき課題



今後の見通しにつきましては、海外景気の下振れ、円高の進行、デフレの影響など懸念材料が多く、厳しい経済環境が続くものと思われま

す。
このような厳しい経営環境の中、当社グループにとって最大の課題は、事業の再構築を進め不況時でも安定した利益を確保できる収益基盤を確立し、グローバルな事業を展開することにより、持続的な成長が可能である強い企業集団を目指すことでもあります。

第一に、総コストの削減、事業の再編などを迅速に行い、不況に強い収益基盤を確立してまいります。

第二に、持続的な成長を可能にするための布石を打ち、グローバルな事業展開を強化・拡大し、更なる利益確保を目指してまいります。

第三に、中長期的ならびにグローバルな観点による人材の強化・育成を図ってまいります。

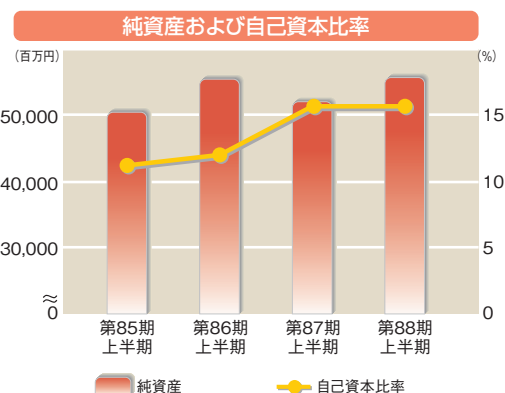
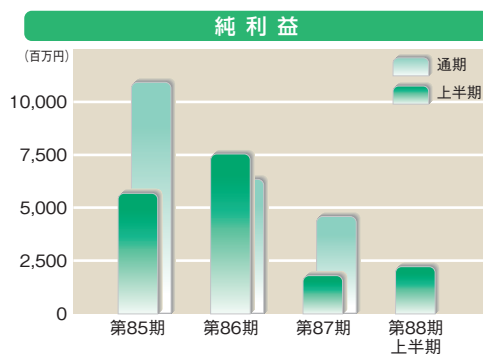
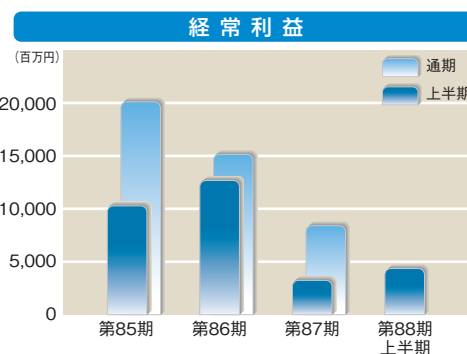
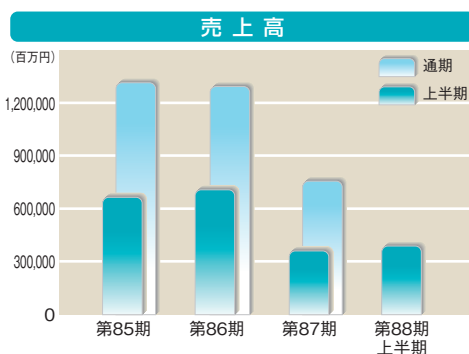
第四に、リスクマネジメントをさらに強化してまいります。

住金物産グループは「お客様と一緒に新しい価値を創造する。」「公正・安全を最優先し社会に貢献する。」「現場力・チーム力で夢に挑戦し実現する。」という企業理念のもと、変化の激しい経営環境の中でも安定した収益を継続し、皆様のご期待に沿うべく全社一丸となって全力を尽くしてまいります所存であります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移

区 分	第85期上半期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	第86期上半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	第87期上半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	第88期上半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	第87期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高 (百万円)	665,592	708,105	361,540	389,351	757,185
経常利益 (百万円)	10,282	12,680	3,245	4,364	8,425
純利益 (百万円)	5,687	7,545	1,780	2,221	4,591
1株当たり純利益 (円)	34.67	46.01	10.86	13.55	28.00
総資産 (百万円)	429,874	438,724	318,983	337,532	324,054
純資産 (百万円)	50,307	55,290	52,171	55,732	54,668
1株当たり純資産 (円)	295.65	324.30	307.25	324.67	322.53
自己資本比率 (%)	11.3	12.1	15.8	15.8	16.3

(注) 第86期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。



連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円、百万円未満切り捨て)

科目	当上半期末 (平成22年9月30日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	276,204	267,633
固定資産	61,327	56,421
有形固定資産	31,454	27,248
無形固定資産	1,451	1,393
投資その他の資産	28,421	27,779
資産合計	337,532	324,054
負債の部		
流動負債	262,463	249,969
固定負債	19,336	19,416
負債合計	281,799	269,386
純資産の部		
株主資本	55,650	53,675
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	7,084	7,084
利益剰余金	36,416	34,439
自己株式	△ 186	△ 184
評価・換算差額等	△ 2,413	△ 786
その他有価証券評価差額金	545	889
繰延ヘッジ損益	△ 692	△ 121
土地再評価差額金	—	76
為替換算調整勘定	△ 2,265	△ 1,630
少数株主持分	2,495	1,779
純資産合計	55,732	54,668
負債純資産合計	337,532	324,054

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円、百万円未満切り捨て)

科目	当上半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前上半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	389,351	361,540
売上原価	361,583	334,534
売上総利益	27,767	27,006
販売費及び一般管理費	23,798	23,486
営業利益	3,968	3,520
営業外収益	1,581	1,123
営業外費用	1,186	1,398
経常利益	4,364	3,245
特別利益	151	1,224
特別損失	1,112	515
税金等調整前純利益	3,403	3,954
法人税、住民税及び事業税	1,529	3,074
法人税等調整額	△ 173	△ 773
少数株主損失 (△)	△ 174	△ 127
純利益	2,221	1,780

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円、百万円未満切り捨て)

科 目	当上半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)		前上半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,063		941	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,154		252	
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,145		△1,379	
現金及び現金同等物の期末残高	12,300		11,059	

連結セグメント情報

(単位：百万円、百万円未満切り捨て)

区 分	当上半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)		前上半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
鉄 銅	208,270	1,604	187,823	911
産機・インフラ事業	52,004	901	46,585	372
織 維	73,529	1,089	70,281	992
食 糧	54,930	1,057	56,270	989
そ の 他	615	△300	580	△39
調 整 額	—	10	—	19
計	389,351	4,364	361,540	3,245

(注) 1.セグメント間の内部売上高(または振替高)は除いております。

2.当期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号)を適用しております。

3.前上半期のセグメント情報については、上記基準等を適用後の区分に遡及修正しております。

会社の概況 (平成22年9月30日現在)

資本金	12,335,884,700円
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	164,534,094株
株主数	12,821名
企業集団の 主要な事業内容	国内および海外における鉄鋼、産機・インフラ事業、繊維、食糧他 各種商品の販売
使用人数	(1) 企業集団の使用人数 4,982名 (2) 当社の使用人数 916名 (注) 使用人数は就業人員であり、国内および海外 外出向者233名を含めた当社の使用人数は 1,149名であります。

国内・海外ネットワーク

国内	大阪本社 〔本店〕	大阪市西区新町一丁目10番9号(住金物産ビル) (注) 平成22年9月21日付で、大阪本社〔本店〕を移転 いたしました。
	東京本社	東京都港区赤坂八丁目5番27号(住金物産ビル)
	名古屋支社	名古屋市中区栄一丁目3番3号(朝日会館)
	支店	北海道(札幌市)・東北(仙台市)・ 茨城(鹿嶋市)・新潟・北陸(富山市)・ 中四国(広島市)・九州(福岡市)
海外	営業所	秋田・水戸・静岡・岡山・ 小野田(山陽小野田市)・高松・ 愛媛(松山市)・鹿児島・沖縄(那覇市)
	事務所	北京・上海・大連・青島・ホーチミン・パリ (注) 平成22年8月31日付で、南通事務所を廃止いた しました。

主要な子会社

瀧本株式会社(大阪)、株式会社つば八(東京)、住金物産
コイルセンター株式会社(兵庫)、株式会社イスト(東京)、
イゲタサンライズパイプ株式会社(大阪)、日協食品株式
会社(東京)、住金物産マテックス株式会社(大阪)、
住金物産建材株式会社(東京)、
Sumikin Bussan International Corp.(米国)

取締役および監査役

氏名	地位および担当
天谷 雅 俊	取締役社長(代表取締役、社長)
八木 克 彦	取締役(代表取締役、副社長、事業開発グループ長)
目黒 希代史	取締役(副社長、鉄鋼カンパニー長)
沼田 治	取締役(専務執行役員、産機・インフラ事業カンパニー長)
鎌田 健 治	取締役(専務執行役員、企画管理本部長)
江口 恒 明	取締役(専務執行役員、繊維カンパニー長)
前田 茂	取締役(常務執行役員)
霜鳥 悦 功	取締役(常務執行役員)
栗田 啓 二	取締役(常務執行役員、食糧カンパニー長)
大前 豊	監査役(常勤)
新屋敷 信 幸	監査役(常勤)
今村 正 昭	監査役
渡部 毅	監査役

(注) 監査役 新屋敷信幸、今村正昭および渡部 毅の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告（当社のホームページに掲載） http://www.sumikinbussan.co.jp ※やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 （郵便物送付先）	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	フリーダイヤル 0120-176-417
（インターネット） （ホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の連絡先をお願いいたします。

第88期中間配当金のお支払いについて

第88期中間配当金は、同封の「第88期中間配当金額収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）で払渡期間内（平成22年12月1日から平成23年1月14日まで）にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には、「第88期中間配当金計算書」および「配当金のお振込先について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。（株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社等）へお問い合わせください。）

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることとなっています。（同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります。）

なお、「支払通知書」は、株主様が確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。（株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関（証券会社等）へお問い合わせください。）

当社に関する情報は、下記のインターネット・ホームページでご覧いただけます。

<http://www.sumikinbussan.co.jp>



この印刷は環境に優しい大豆油 (SOY)
インキを使用しております。